

製品安全データシート

プラチナ（バー、プレート）

1. 化学品等および会社情報

製品の名称：	プラチナ（バー、プレート）
会社名：	アサヒメタルファイン株式会社
住所：	東京都千代田区丸の内1-7-12
電話番号：	03-6270-1826
緊急時の電話番号：	0297-20-9032
FAX番号：	03-6270-1813

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	区分1
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

- (H315) 皮膚刺激
(H319) 強い眼刺激
(H334) 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
(H335) 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）

注意書き：

【安全対策】

- (P264) 取扱い後は手をよく洗うこと。
(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(P284) 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
(P261) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
(P271) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】

- (P302+P352) 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
(P304+P340) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
(P305+P351+P338) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
(P312) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
(P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
(P337+P313) 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

- (P342+P311) 呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。
(P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

- (P403+P233) 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
(P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】

- (P501) 内容物は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者へ処理委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	白金 (Platinum)
化学式	Pt
C A S 番号	7440-06-4
濃度又は濃度範囲	99.95%以上
G H S 分類に寄与する成分 (不純物及び安定化添加物含む) :	なし

4. 応急措置

粉じん等を吸入した場合：

- ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。

粉じん等が皮膚に付着した場合：

- ・皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

粉じん等が眼に入った場合：

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

粉じん等を飲み込んだ場合：

- ・口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺の状況に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし

この製品は、不燃性である。ただし、高温熔融時の注水は厳禁である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで、十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
掃き集めて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項： 粉じん等の吸入を避けること。
保護眼鏡等で粉じん等から眼を保護すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 衛生対策： 取り扱い後は手をよく洗うこと。

保管

- 技術的対策： この製品は、通常的环境下では安定なため、適用されない。
- 混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管条件： 換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料： この製品は、通常的环境下では安定なため、適用されない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

日本産業衛生学会勧告値	ACGIH TLV-TWA
0.001mg/m ³ (水溶性白金塩、Ptとして)	1mg/m ³ (Platinum Metal)

(参考) 労働安全衛生法管理濃度：土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉塵として 3mg/m³

- 設備対策：この製品を加工し、粉じん、ヒューム等が発生する作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸器の保護具： 適切な呼吸保護具を着用すること。
- 手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具： 適切な眼、顔面用の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。
汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 固体
- 色： 銀灰色
- 臭い： 無臭
- 融点： 1,769°C
- 沸点： 3,827°C
- 可燃性： 情報なし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： 情報なし
- 引火点： 情報なし

自然発火点：	情報なし
分解温度：	情報なし
pH：	情報なし
動粘性率：	情報なし
溶解度：	不溶（水）
n-オクタール／水分配係数：	log Pow = 1.03（推定値）
蒸気圧：	情報なし
密度及び／又は相対密度：	21.45 g/cm ³
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性：	通常的环境下では安定である。
危険有害反応可能性：	地金状のものは不燃性。ただし、微粉末は強力な触媒であり、多くの反応により火災や爆発の危険性がある。
避けるべき条件：	混色危険物質との接触
混触危険物質：	アルミニウム、アセトン、ヒ素、エタン、ヒドラジン、過酸化水素、リチウム、リン、セレン、テルル
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	分類できない（データなし。）
急性毒性（経皮）：	分類できない（データなし。）
急性毒性（吸入：ガス）：	分類対象外（GHSの定義による固体である。）
急性毒性（吸入：蒸気）：	分類できない（データなし。）
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）：	分類できない（データなし。）
皮膚腐食性／刺激性：	区分2（皮膚刺激） （HSFS（2002）およびSITTIG（4th, 2002）の皮膚を刺激する可能性があるとの記述から、区分2とした。）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2A（強い眼刺激） （政府による分類では以下の理由（※）により「区分2A-2B」であるが、NITEの評価結果を採用し、区分2Aとした。 ※ICSC（J）（2003）の眼を刺激するとの記述、ならびにHSFS（2002）およびSITTIG（4th, 2002）の眼を刺激する可能性があるとの記述から、区分2A-2Bとした。）
呼吸器感作性：	区分1（吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ） （日本職業・環境アレルギー学会でリストアップしている物質であることから、区分1とした。）
皮膚感作性：	区分外 （EHC（J）125（1991）の「非アレルギー性のように見える」との評価に基づき、区分外とした。）
生殖細胞変位原性：	分類できない（データなし。）
発がん性：	分類できない（データなし。）
生殖毒性：	分類できない（データなし。）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分3（呼吸器への刺激のおそれ 気道刺激性） （ICSC（J）（2003）の気道を刺激するとの記述並びにHSFS（2002）およびSITTIG（4th, 2002）の鼻、喉または気道を刺激する可能性があるとの記述から区分3（気道刺激性）とした。）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	区分外 （産衛学会勧告（2000）の金属白金粉塵を吸入しても中毒症状を起こすことはないとの記述から、区分外とした。）

誤えん有害性：分類できない（データなし。）

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）：	分類できない
生態毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生態蓄積性：	情報なし
土壌中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物 No.437 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	該当しない

16. その他の情報

参考文献	
JIS Z 7252 (2019)	
JIS Z 7253 (2019)	
職場の安全サイト（厚生労働省）	
（独）製品評価技術基盤機構	
産業衛生学会	
許容濃度の勧告（2022年度）（日本産業衛生学会）	
ACGIH TLVs and Bels (2021)	
化学大辞典 7（共立出版株式会社）	

本情報は製品に対して品質保証や安全保証をするものではなく、製品の危険、有害性に関する情報を提供するものです。

記載のデータや評価に関しては必ずしも十分ではありません。すべての化学製品には未知の危険有害性があるため、取り扱いには十分にご注意ください。

注意事項は通常の手続きを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は十分な安全対策を実施の上でご利用ください。